



作成日 2020/09/30

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	U-レジストCC素地調整材 粉体
製品コード	CE-F01-1180
供給者の会社名称	宇部興産建材株式会社
住所	東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
電話番号	03-5419-6206
FAX番号	03-5419-6265

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体 区分に該当しない
健康有害性	皮膚腐食性/刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器 腎臓 免疫系) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない(分類対象外)か分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示

注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
H335 呼吸器への刺激のおそれ  
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い  
H350 発がんのおそれ  
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害

注意書き  
予防策

粉じんを吸入しないこと。(P260)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

## 対応

皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

## 廃棄

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報  
化学物質・混合物の区別  
化学名又は一般名

混合物  
セメント混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポルトランドセメント	45～55%	不明	—	公表	65997-15-1
石英	40～55%	SiO <sub>2</sub>	(1)-548	公表	14808-60-7
その他	1～10%	不明	—	—	

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。

## 皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。  
刺激が続くようであれば、医師の診療を受けること。

## 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

## 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

## 適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、砂。

## 使ってはならない消火剤

情報なし

## 火災時の特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

## 特有の消火方法

消火作業は風上から行うこと。

## 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具(『8. 暴露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

## 環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

## 封じ込め及び浄化の方法及び機材

大気拡散しないように留意する。  
漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。  
大量の場合、漏洩物を回収した後、漏洩区域を大量の水で洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

眼、皮膚に触れないように保護眼鏡、保護手袋を着用する。

## 安全取扱注意事項

粉塵を吸入しないように、防塵マスク等適切な保護具を着用する。

## 衛生対策

目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。

内容物を故意に吸い込まないこと。

換気の良い場所で取り扱うこと。

眼、皮膚との接触を避けること。

取扱い後は、うがい、洗眼、手洗いを励行する。

## 保管

## 安全な保管条件

「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を遵守し、取扱い後は、必ず手や顔を洗い、うがいをすること。  
保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

安全な容器包装材 湿気を避ける。  
情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ポルトランドセメント	未設定	【第2種粉塵】吸入性粉塵:1 mg/m <sup>3</sup> 、総粉塵:4 mg/m <sup>3</sup>	TWA:1 mg/m <sup>3</sup> (E, R)
石英	0.025mg/m <sup>3</sup>	吸入性粉塵:0.03 mg/m <sup>3</sup>	TWA:0.025 mg/m <sup>3</sup> (R)

設備対策 保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具  皮膚及び身体の保護具	取扱いは換気のよい場所で行う。 防塵マスク、簡易防塵マスク。 保護手袋 顔面用の保護具を着用すること。 保護眼鏡 保護服、保護長靴等
-------------	-----------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	固体(粒状)
色	灰色
臭い	無臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に難溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	2.3- 2.9
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	水硬性

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	水と反応して安定固化する。
危険有害反応可能性	標準的条件では危険な反応をしない。
避けるべき条件	水、湿気。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼すると条件によって有害ガスが生成することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入	分類できない 分類できない (気体)区分に該当しない (蒸気)分類できない
------	----------------	------------------------------------------------

皮膚腐食性／刺激性	(粉塵、ミスト)分類できない
眼に対する重篤な損傷性	区分1[成分情報から]
／眼刺激性	区分1[成分情報から]
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分[成分情報から]
発がん性	区分1A[成分情報から]
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道性刺激)[成分情報から]
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器、腎臓、免疫系)[成分情報から]
誤えん有害性	分類できない
ポルトランドセメントとして	
皮膚腐食性／刺激性	水と接触すると強アルカリ性(pH12~13)を示すことより区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性	皮膚腐食性であることより区分1とした。
／眼刺激性	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	気道刺激性があるとの報告(ACGIH (7th, 2010))より、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	吸入経路では、ヒトにおいて良性の塵肺症を生じ、気管支炎、呼吸困難、咳、痰、肺気腫、胸痛がみられるとの報告がある(ACGIH (7th, 2010)、DFGOT vol. 11 (1998))ことから区分1(呼吸器)とした。実験動物についての有用な情報はない。
石英として	
生殖細胞変異原性	In vivoでは、遺伝子突然変異試験で陽性、マウス肺組織のhprt遺伝子突然変異試験で陰性、腹腔内投与によるマウス小核試験で陰性、ヒトリンパ球の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性、ラット肺、末梢血を用いた酸化DNA傷害試験で陽性又は陰性、ラット肺上皮細胞のDNA切断試験で陽性である。また、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である。以上より、ガイダンスに従い、区分2とした。
発がん性	IARC:グループ 1、日本産業衛生学会:第1群、NTP:K に分類されていることより、区分1Aとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて、呼吸器、自己免疫疾患、腎臓への影響が確認されている。したがって、区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない
その他のデータ	接触水はアルカリ性(pH11~13)を呈するため、環境に影響を及ぼさないように注意する。
石英として	
水生環境有害性 短期(急性)	非晶質シリカを用いて試験されたデータで、甲殻類(オオミジンコ)の24時間LL50 > 10,000 mg/L、魚類(ゼブラフィッシュ)の96時間LL0 = 10,000 mg/L(いずれもSIDS, 2013)であることから、区分外とした。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。  
下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。  
容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

海上規制情報 該当しない  
Marine Pollutant Not applicable  
Liquid Substance Not applicable  
Transported in Bulk  
According to  
MARPOL 73/78,  
Annex II, the IBC  
Code

## 国内規制

航空規制情報 該当しない  
陸上規制 該当しない  
海上規制情報 該当しない  
海洋汚染物質 非該当  
MARPOL 73/78 附 非該当  
属書II 及びIBC コー  
ドによるばら積み輸  
送される液体物質

## 特別の安全対策

航空規制情報 該当しない  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
包装容器を破損させないように注意し、直射日光や雨水に当たらない様に被覆シートをかけて輸送する。  
梱包袋が破れない様に、水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。  
また、荷崩れしない様に取り扱うこと。  
その他、『7. 取扱い及び保管上の注意』の項の記載による。

## 15. 適用法令

## 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

・ポルトランドセメント(法令指定番号:545の2)

・結晶質シリカ(法令指定番号:165の2)

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 化学物質排出把握管理

非該当

## 促進法(PRTR法)

## 海洋汚染防止法

有害でない物質(施行令別表第1の2)

## 外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項

## じん肺法

法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

## 16. その他の情報

## 参考文献

情報なし

## 記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。